京都打ち合わせ 論点メモ（261019・内部）

> ⚠️ **261025 訂正（この文書は 10/19 時点の見立てです）**
>
> 10/23 の京都で2つ食い違いが分かりました。
>
> ① **しんぶん君を描いたのは松尾さんご本人ではなく、ご主人**でした（ご本人の発言「これが、うちの主人が、書いたんですよ、最初」）。
>
> ② **原画・著作権・AI 清書の可否は、会議で話題になりませんでした。** 議題は役割分担と仕組みの話に終始しました。
>
> 実際に決まったこと＝ `01_LINEログ/ミーティング記録_261023.md`

三宅さん 10/18「新聞君のデザインをした方は京都にお住まい。電通のデザイナーだった様です。**その方と京都で打ち合わせ**をしたい。**お互いに役割を明確にして進めたい**。セナオも一緒に話が出来たら嬉しい。**私たちの目的は、p9 の仕組みづくり**です」。

10/19 に日程が確定し、あわせて主題がもう一段はっきりしました。三宅さん 10/19「**見せ方次第では、直ぐに全国モデルになって行くと思います。デザイナーの方と一緒に、どの様に伝えるか？ しっかりと考えて行きましょう**」。

＝この打ち合わせは「権利と役割の整理」だけでなく、「資料をどう見せるか」の場です。

日時	**2026年10月23日（金）15:30**
場所	**SUINA室町 1F ベーカリーカフェ MAISON KAYSER（メゾンカイザー）**
住所	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78（四条烏丸）
アクセス	地下鉄烏丸線「四条駅」すぐ。 https://suina-muromachi.jp/
当日	三宅さんは15時頃に近くへ到着し、着いたらLINE。セナオは14時頃に四条河原町で用事があり、そのまま合流

- 相手＝元電通のデザイナー・京都在住。氏名・所属は未確認（**261025 追記＝松尾さん。しんぶん君を描いたのはご主人**）

---

1. この場で片づけられること（これまで止まっていた論点）

作者に会えるのは、たまたまではなく、ここまで止まっていた問題がまとめて解ける機会です。

#	止まっていたこと	いつから	影響
1	**しんぶん君のベクター原画が無い。**手元の素材は既存チラシから抜いた 100dpi のラスター3ポーズ（112×160px）で、**20mm より大きく使えない**	260904	リーフレットの表紙で大きく使えず、毎回ごまかしている
2	**著作権の帰属が不明。**©表記はあるが、誰が権利を持ち、どこまで使ってよいかの取り決めが無い	260904	全国展開・商品化の話が出たときに止まる
3	**AI で描き起こした清書・場面絵の扱い。**261007 以降、こちらで候補 34 枚を生成し、**採用 11 枚**を資料に使っている（清書1・場面3・ポーズ7）	261007	**作者の了解を取っていない。**先に相談すべきだった
4	現行ロゴ（むすび／まごころサポート）の**制作者・元データ**	260826	同上
5	中日新聞の新ロゴの**正式データ（ai／svg）**	261014	公式サイトに配布データが無く、資料から抽出して使っている

3 について（こちらから先に言う）

こちらから正直に出すのが筋です。使っている絵の一覧と、どこに使ったかを持って行きます。

- 既存キャラのデザインは変えていない（台帳に「既存キャラは AI で描き直さない」と決めてある）
- 高解像度の清書は、原画を参照画像にして生成した（プロンプトも全部残っている）
- 使った先＝BtoC リーフレット v2〜v11、ビジネスモデル資料 3種、BtoB 案（**いずれも印刷・配布前**）
- 一覧＝`06_個別成果物/261019/しんぶん君_使用一覧_261019.md`（素材の出どころ・11枚の中身・使った先・伺うこと）
- **作者がどう扱いたいかを聞き、だめなら差し替える。**台帳があるので差し替えは効く

---

2. 役割分担の案（たたき台）

三宅さんの「お互いに役割を明確にして進めたい」への、こちらからの叩き台。

役割	誰が	中身
キャラクターの原作	デザイナー	しんぶん君の原画・使ってよい形（ポーズ・表情・色・最小サイズ）・展開のルール
ブランドの決まり	デザイナー＋ セナオ	色・書体・ロゴの扱い。いまは `08_デザインDB/デザイン台帳.json` に全部書いて公開サイトに出している。**ここに作者の決まりを足せば、全員が同じ物を見られる**
現物を作る	セナオ	リーフレット・スライド・サイト。HTML から作って PDF にする仕組みがあり、直しが速い（10/13〜10/16 は半日で 4 版）
中身を決める	三宅さん・佐藤社長	文言・方針・関係者との調整
仕組みを動かす	三宅さん・佐藤社長	p9 の運用（窓口・チケット・事業者の審査）

この分け方の勘所: デザイナーが「決まりを作る人」、こちらが「決まりに従って量を出す人」。

量が要る仕事（地区ごとの差し替え・他県展開・毎回の直し）をデザイナーに持たせると止まるので、**原作とルールだけを持ってもらう**のが双方にとって楽です。

---

3. p9 の仕組みづくり（三宅さんの言う目的）

⚠️ **10/19 に届いた 16 ページの概要で、p9 の中身が入れ替わりました。**

版	p9
1017（14ページ）	新聞販売店だから出来る「お困りごと相談窓口」
1022（16ページ・最新）	**「循環型まちづくりエコシステム」のチェックリスト**（まちづくりDX の管理体制）

チェックリストを指していると読むのが妥当です。 根拠は、最新版の p8 本文が「**『P９チェックリスト』と『まちづくりDX』というデジタルの盾**」と**ページ番号を名前の一部として自己参照**していること、そして三宅さんが 10/16 にも同じ中身を「**p7 のチェックリスト**」とページ番号で名指ししていたことです。

つまり、こちらはすでに「目的」の第1号に着手済みです。 チェックリストの赤字項目の筆頭が **2-5 個人情報保護等の運用規定**で、261018 に全17条の骨子を起草してあります。**京都の場に持って行けます。**

（確認には `(1018)` の再送が要ります。10/18 の発言に添付されていた版です。）

仕組みを動かすのに要る「見せる道具」

道具	いまの状態	打ち合わせで決めたいこと
BtoC リーフレット	**v11 完成**（261016）	作者から見て直すところ。印刷の仕様（紙・部数・入稿形式）
概要 16 ページ（1022）	三宅さん「アドバイスください」	**見せ方の方針**。下の 3-2 が論点
お助けチケット	既存の券面（100dpi の画像しかない）	**券面の原データ**。増刷・地区展開のときに要る
サービスロゴ（まごころ サポート／み・まも〜る）	チラシから抽出したラスター	**原データ**と、使ってよい形
しんぶん君	100dpi の3ポーズ＋AI 清書 11枚	**原画**と、ポーズを増やすときのやり方
ポータルサイト	未着手（チェックリストの赤字）	作るとしたら誰が何を持つか
設置用のツール（卓上POP・のぼり・封筒）	未着手	要るか。要るなら誰が作るか

3-2. 概要 16 ページの見せ方（デザイナーの方への相談事項）

#	気づき	直し方の方向
1	**1面に色が6色以上**。どこを読めばよいか決まらない	色の役割を決める。地＝黄、見出し＝濃い緑、強調は1色だけ
2	**しんぶん君が 100dpi** のまま。拡大すると輪郭が崩れる	**原画をいただく**（この打ち合わせの主目的のひとつ）
3	**スクリーンショットの貼り込み**が多い（表紙のロゴ・新聞紙面・グラフ）	数字は図に描き直す。紙面は引用の体裁を整える
4	**面ごとに書体と文字サイズがばらばら**	見出し・本文・注の3段階に固定する
5	**16面に3つの話が混在**（理念と大義／仕組み／お金）	読む相手ごとに分ける。公的機関に理念と仕組み、事業者に仕組みとお金
6	**表紙に発行者が無い**。中日新聞社の資料に見える	プロジェクト名・事業主体・連絡先を表紙に置く

※ 中身の誤り（お金の分数・親族関係の実名・事業サポート表記など）は**三宅さんへ別途お伝えする**もので、デザイナーの方との議題ではありません。一覧＝ `02_分析/受領資料分析_261019.md`

4. 持って行くもの

#	物	なぜ
1	**BtoC リーフレット v11**（紙で）	現物が一番早い。「ここまで出来ている」を見せる
2	**しんぶん君の使用一覧**（`しんぶん君_使用一覧_261019.md` を紙で）	3 の論点を先に出すため。素材の出どころ・11枚の中身・使った先・約束が1枚に入っている
3	**デザインの決まり**（公開サイトの「デザインの決まり」）	色・ロゴ・書体が全部機械可読で入っている。**作者の決まりを足せる器がある**ことを見せる
4	**ビジネスモデル資料（手描き版・そのまま版）**	全体像を 18 枚で説明できる
5	**概要 16 ページ（1022）**	三宅さんの最新版。見せ方の議論の素材そのもの
6	**2-5 個人情報保護等の運用規定**（261018・全17条）	p9 チェックリストの赤字項目の第1号。「もう作ってある」を見せられる

---

5. 聞くこと（優先順）

1. **しんぶん君の原画（ai／svg）をいただけるか。** 使ってよい範囲（サイズ・色・改変の可否・他県展開）
2. **著作権は誰が持っているか。** 今後の商品化・全国展開のときの扱い
3. **AI で起こした清書を使い続けてよいか。** だめなら差し替える
4. **ポーズを増やしたいとき、どうするのが一番よいか**（作者に描いてもらう／ルールをもらってこちらで作る）
5. **チケット券面・サービスロゴの原データ**
6. **印刷の仕様**（紙・部数・入稿形式・印刷所）
7. **概要 16 ページの見せ方**（3-2 の6点）。どこから直すのが一番効くか
8. 役割分担の案（2 の表）への意見

---

6. こちらから出せるもの（手土産）

出せるもの	中身
直しの速さ	HTML から組んで PDF にする仕組み。下余白・空白帯・ロゴの解像度・面どうしのラインを機械で検査している。10/13〜10/16 の 4 日で v6→v11 の 5 版
決まりが機械可読	色・ロゴ・書体・キャラクターを JSON の台帳に持ち、公開サイトに自動で出る。**作者が決めたことを、全員が同じ形で見られる**
差し替えが効く	絵は台帳の参照画像とプロンプトで管理。作者の指示で全部差し替えられる
地区展開の型	同じ原本から販売店名・住所・電話だけ差し替えて刷れる作りにしてある

---

7. 気をつけること

- **作者は「元電通」。** 紙の作法（入稿・色・印刷）はこちらより確実に詳しい。教わる姿勢で行く
- **こちらが AI で絵を起こしていることは、隠さず先に言う。** 後から分かる方が悪い
- **役割の線引きは、三宅さんが決めること。** こちらは叩き台を出すところまで
- **その場で安請け合いしない。** 持ち帰って三宅さんと確認する

---

8. 未受領

`(1018)（新聞販売店の地域貢献）.pdf` **（10/18 19:32 便）が届いていません。** 再送を依頼してください。

「リーフレットをもう少し直します」の中身も、この資料に入っている可能性があります。